

## 資料 3

菊川市長定例記者会見【令和2年2月10日】

# ～連携協定による実証実験結果を基に～ 菊川市はAI-OCR・RPAを導入します

担当：総務部 秘書広報課 秘書広報係（TEL：0537-35-0924）

## 1 概要

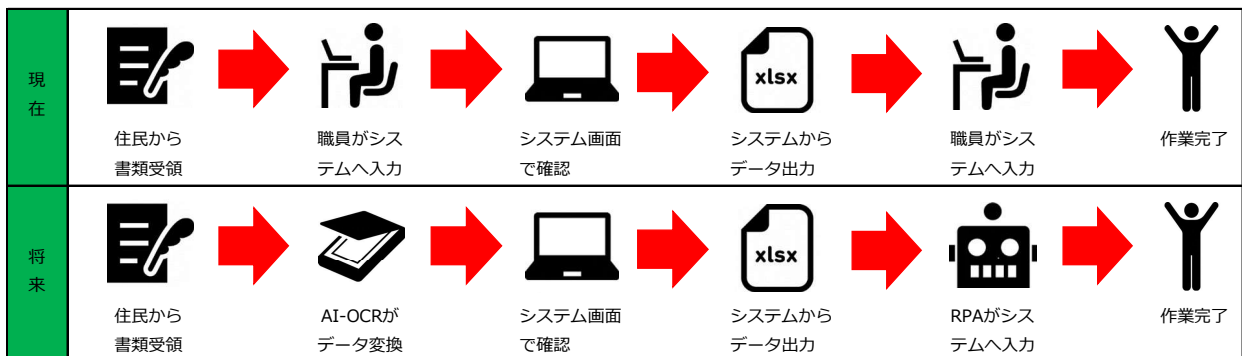
市は、AI-OCR技術を持つ富士ゼロックス静岡(株)と、RPA技術を持つ静岡日電ビジネス(株)とそれぞれ連携協定を昨年12月に締結し、ICT技術による業務の効率化や業務量の削減を目的として実証実験を重ねたところ、一定の効果を見込むことができたため、来年度予算に反映していくことにしました。今後は、ICTの利活用による実証実験の結果を基にICT技術を活用することで、現在抱えている業務課題の解決と生産性の向上を図っていきます。

## 2 現状と課題

業務の効率化や業務量の削減により生産性の向上を図るうえで、ICT技術の活用は不可欠です。AI(人工知能)やRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)等のICT技術の導入には、それぞれの業務における実際の事務量の可視化と取り扱う情報の紙からデータへの移行が必要不可欠です。しかしながら、自治体のみでの力では事務の可視化やデータへの移行は大変大きな作業負担であり、ICT技術を活用するには、専門的な知識や技術を要するため、職員では限界があります。また、導入コストも多額であり、知見の浅い段階で多額のコストを掛けて導入できないため、実証試験が必要と考えました。そこで、今年度において、「課題への早期対応」「今ある資源の活用」「民間連携」を基本とし、課題解決への取り組みを模索してきました。

## 3 取り組み内容

○受付事務～通知発送事務や単純な入力、確認（チェック）事務など



## 【参考】

# 菊川市と富士ゼロックス静岡(株) 菊川市と静岡日電ビジネス(株) 連携に関する協定

## ○目的

AI-OCR、RPAの活用を通じて、行政全般の業務効率化を促進し、生産性の向上を図るとともに、労働力の確保及び職員の多様な働き方の実現を図ることを目的としています。

## ○連携事項

1. AI-OCR、RPAの周知啓発に関すること。
2. AI-OCR、RPAの導入促進に関すること。
3. AI-OCR、RPAの関連人材の育成に関すること。
4. 協定により得られた有形及び無形の成果物の共有及び使用に関すること。
5. その他、相互に連携及び協力が必要と認められる事項に関すること。

具体的には、以下のとおりとなります。

- ① 業務の現状分析をもとに、一連のフロー図を作成し、業務を可視化
- ② 実証実験を行い、AI-OCR、RPAの導入に向けての提案・検討
- ③ 実証実験の成果をもとに、業務工程を見直し、業務を効率化

## 業務自動化実証実験結果

## ○対象業務

口座振込依頼情報を住民情報システムに入力する業務

## ○実証実験概要

市民から提出された口座振込依頼書をAI-OCRが読込データ化し、RPAが読込データを活用して住民情報システムに入力

## ○効果測定

現在の作業時間：118.5時間 RPAの作業時間：66.9時間 効果時間：51.6時間

※用語解説 RPAとAI-OCR

### (1) RPA

RPAとは、Robotic Process Automationの略で、ロボットによる業務自動化のこと。複数のシステムを連携して操作する作業等、今まで人力で行っていた作業をロボットが代行する。ロボットというと手や足等身体のある部分の動きを代行してくれる産業ロボットを想像するが、RPAは、キーボードやマウス等の端末操作を代行するもの。

### (2) AI-OCR

OCRとは、紙面を写した画像等を解析して、その中に書かれている内容を文字データとして取り出す装置のこと。AI-OCRとは、文字通りAIの技術を取り入れたOCRのこと。